講義名	英語で学ぶグローバルコミュニケーション(総合)			授業形態	その他					
		201 May 1 1 20 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	10		使用す	るワークシート等は適宜、授業中に配布する。				
担当教員	中川典子	開講期・曜日・時限 後期 火曜日 4時	限							
		単位数 2 履修開始年次 2年生	ナンバリング・	□ _{ENG226}	-					
		中世級 - 版例別和十八 2 年上	_ F	LNGZZO						
主題と概要					授業計	画				
今日の社会では、外国語を手段として使い、グローバルな視点で物事を考えることが益々、重要視されている。本コースはこのような現状に対応するため、異文化を理解し、文化的多様性に対して東容な態度をもち、世界に適用する基本的な英語力をもったグローバル人材を育成することを目的とする。授業ではテキストを使った演習や課題、クイズの実施により、英語によるコミュニケーション能力の育成を目指す。										
目指す。					(予型 (復習	イダンスとベアワーク、他己紹介 内容)テキストUnit 1のwarming upエクササイズ、会話文の 内容)シラバスを読み、授業の概要を理解しておくこと(60	リスニング演習と空所補充問題解答、会 分)	話文内容把握(180分)		
					2. U	May I help you? (困っている人に話しかける)	リフェンが 変勢と空岳補玄照顕叙案 会	·話文内容把握(120分)(復習内容)授業で学習した文法事項、	単語 茶語書項の復習お上び会託立の書き	
) (1) 3. U	1916) アイス Full Coowarming ロエクラックス、 芸語文の 193分) * What do you do on the weekend? (初対面の人と会話を終	ウスニング 灰白 C 王が 神元 问題解音、云 表ける)	・ 協文内台北雄(120万)(後首内台)技業(子首 ひた文本学点)	平面、矢面衣坑の接合のよび云面文の音で	
					(予盟リ)(1)	内容)テキストUnit 3のwarming upエクササイズ、会話文の 0分)	リスニング演習と空所補充問題解答、会	話文内容把握(120分)(復習内容)授業で学習した文法事項、	単語、英語表現の復習および会話文の書き耳	
					4. U: (予型	iThat sounds interesting! (ポジティブ・ネガティブな頭 内容)テキストUnit 4のwarming upエクササイズ、会話文の	意見を述べる) リスニング演習と空所補充問題解答、会	(120分) (復習内容) 授業で学習した文法事項、	単語、英語表現の復習および会話文の書き取	
					1) (1) 5. U	19分) - I'm not feeling well. (体調を伝える) 内容)ニャストリット 5のworking wort クササイズ 今年立の	. ロューン が定期 レ穴氏域 左照 照 紀父 へ	:話文内容把握(120分)(復習内容)授業で学習した文法事項、	出味 芝味本田の作別やトバ会科立の書き	
					U (1:	(0分) : Vou shouldn't stan thara (注音する)				
到達目標					(予習	内容)テキストUnit 6のwarming upエクササイズ、会話文の nd公、		話文内容把握(120分)(復習内容)授業で学習した文法事項、		
	下の能力を養うことを目標とする。	トンもフランニーを シェンフォル 英雄原のホヤナロ	-047 = L##*7		7. 06	Why don't we buy potatoes, too? (提案する) 内容)テキストUnit 7のwarming upエクササイズ、会話文の	リスニング演習と空所補充問題解答、会	·話文内容把握(120分)(復習内容)授業で学習した文法事項、	単語、英語表現の復習および会話文の書き取	
(1) 課題解決型のスキットを通じて、英語力だけでなく、グローバル人材に求められるコミュニケーションスキルや課題解決力を身につけることができる。 (2) 英語母語話者だけでなく、ノンネイティブ(英語母語話者以外)の人々の生の英語による教材を使用することで、実際のグローバルな英語環境に襲しむことができる。 (3) ベアワークにより、日常の様々な増販における英姓的な英語力を書館できる。					8. U. (予期	〕(120分)。 8. U7 Mould Spn be convenient for you? (スケジュールを調整する) (予書内容)テキストUnit 8のwaraing ゆエクササイズ、会話文のリスニング演習と空所補充問題解答、会話文内容把握(120分)(復習内容)授業で学習した文法事項、単語、英語表現の復習および会話文の書き耳				
(3) リンプンプルと 口部の後 14 機能におり、基本的なリスニングラを伸ばす動機を行う。 (4) リスニングライズの実施により、基本的なリスニングラを伸ばす動機を行う。					1) (1: 9. U	() 自分は) プイン(IIII) condaining (サンソック) 人、気能スのツスーノッ原言と王州南北向西神宮、玄能入行台北座(120万)(複音)では)(東半じ手) (大き)のより、18 () 1 (120年) () 1 (120				
					(予習	内容)テキストUnit 9のwarming upエクササイズ、会話文の				
					10. 以	I have an idea. (解決策を提案する・協働作業をする) 内容)テキストUnit 10のwarming upエクササイズ、会話文の	カリスニング演習と空所補充問題解答、3	会話文内容把握(120分)(復習内容)授業で学習した文法事項	、単語、英語表現の復習および会話文の書き	
					11 1110	取り (120分)				
						取り(12分) no could explain this more. (アドバイスする) (子間内容) テキスト(同1 12の) (後間内容) デキスト(同1 12の) (後間内容) デキスト(同1 12の) (本語文の) スニング演習と空所補充問題解答、会話文内容把握(12の) (復習内容) 授業で学習した文法事項、単語、英語表現の復習および会話文の書き				
是出課題					13. 0	2 don't get what you mean. (発言を聞き返す) 内容)テキストUnit 13のwarming upエクササイズ、会話文の	カリスニング演習と空所補充問題解答、3	会話文内容把握(120分)(復習内容)授業で学習した文法事項	、単語、英語表現の復習および会話文の書き	
基本文法やイディ	r オムに関する演習問題、テキストの内容に沿った会話文の作成、	その他、授業で配布するテキストの内容に準拠して打	3当者が作成したワークシート	等、さまざまな課題に取り組む。	(7.8	73日 / 120分) 1 I'm so sorry to hear that. (相手を励ます) 内容)テキストInit 14のwarming unTクササイズ 会話文化	カリスニング演習と空所補布問題解答 《	会話文内容把握(120分)(復習内容)授業で学習した文法事項	単語 英語表現の復習お上が会話文の書き	
					取り(15.0	73日/フィストのIII Hookal ming ロエッシットス、安島スの 120分) 4 That's not what I meant. (誤解を解く・真意を伝える 内容)授業で学習した文法事項、単語、英語表現の復習およ 内容け気間の連携は知りたり、調整する場合がま)	は記入り1日1日1日(120月)(19日1日日)190条でデ目のた文本学の	、千品、天品収売の接首のよび云品人の言と	
					(復習	内容)授業で学習した文法事項、単語、英語表現の復習およ	び会話文の書き取り、定期試験の準備(240分)		
					*授業	内容は毎回の進捗状況により、調整する場合がある。				
理明 (レポート	- や小テスト等)に対するフィードバックの方法									
	(リスニングクイズやテキストの各ユニットの復習クイズ)を実施	病し、解説する。受講生が提出したワークシートの英語	表現を添削指導し助言する。		授業形	態(アクティブ・ラーニング)				
						ア:PBL(課題解決型学習)		イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識	確認等の要素を教室で行う授業形態)	
					-	ウ:ディスカッション、ディベート オ:ブレゼンテーション		エ:グループワーク		
						オ・フレビンナーションキ・その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれに	+ 韓半1 か1/根合 /	カ:実習、フィールドワーク		
						十. てい他(A L型であるけども、以上の項目のいずれに	も取当しない場合)		·	
					卒業 叡	定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
					本コ-	・ 本コースでは夫諾学習を通じて、円滑な異文化間コミュニケーションに必要な知識とスキルを習得する。これは「豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソン」を育成するという本字の全学 共通4月のディブロマポソシーに沿うものである。また、読解諸語を通して海外の社会や文化について学び、基本的な誘展と内容理解・情報収集に習跡することにより、卒業時に見につけておくべき責責・能力の育成につなげる。これらの能力は高字部生に求められる台業界の動向や問題点を理解するための基礎知識・経済学部生に求められる経済にまつわる情報分析の力・人間社会学部生に求められるコミュニケーション能力の修得に促立つ。				
評価の基準					共通利成に対	4目のディブロマポリシーに沿うものである。また、読解練習 2なげる。これらの能力は商学部生に求められる各業界の動向	『を通して海外の社会や文化について学び □や問題点を理解するための基礎知識・紹	バ、基本的な読解と内容理解・情報収集に習熟することにより、 経済学部生に求められる経済にまつわる情報分析の力・人間社会	卒業時に身につけておくべき資質・能力の育	
(1)小テスト(2)課題(40	(20%)				O181	記し役立つ。				
(3)定期試験((40%)									
*上記の成績評価	基準のすべての項目を総合して行うが、一つでも取り組まなかっ	た項目がある場合は不合格となる。								
層修に あたって	の注意・助言他					A CONTRACTOR OF THE SECTION OF THE S				
						授業の実施及びICTの活用に関する記述				
(2)前掲のように (3)特別に認めら	ては、高校レベルの基本的な英語力を有すること。 スの評価は上記の成婚情報をすって、で項目を総合して、 れる理由以外の行うり、との機能が基準である。 3 利利のいからい。 はまたはいるという前はで発生を実施する。 3 利利のいからい。 はまたはいるという前はで発生を実施する。 3 利利のいか。 はまたないのでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない	行うが、一つでも取り組まなかった項目がある場合は こあたる5回以上の授業を欠席すると定期試験の受験)	不合格となる。 『格を失い単位を取得できなく』	なる。3回の遅刻で欠席1回となる。	投業	- 関する質問は随時受付け、授業中あるいはキャンパスクロス	(を通じて回答する。受講生からの提出物	別を添削し、フィードバックを行つ。		
(4) 教科書は当然 (5) 課題はMS Wor	、購入しているといつ前提で授業を実施する。教科書がないこと d形式で提出すること。スマホからの写真やテキストでの提出物に dw.方体の約10公開また。アクイブも字数オスので混乱したいこと	により生じる小部台は目己責任となる。 は受理しない。 カルトも場合のカイブの追針は実施しない								
(7)教科書は解答	知道後の別り方向を使うとライスを実施するのと種別しないこと。 が書かれた他人からもらったものは使用不可とする。 が萎しく悪い、教科書を持って来ないなどの行為が見られた場合	は、大幅な減占となるので留意すること。 は、大幅な減占となるので留意すること。								
(9)提出課題を含	むすべての連絡事項はRyuka Portalのキャンパスクロスを通じて	行うので、必ず確認すること。								
"その他、授業に	関する詳細については第1回目の講義で説明するので、必ず出席す	೯ ಕ ಪ ಪ ಪ ಪ ಪ ಪ ಪ ಪ ಪ ಪ ಪ ಪ ಪ ಪ ಪ ಪ ಪ ಪ				The state of the s				
					美務組	験の有無及び活用				
0科書					-					
	ish Skills for Global Communication.	Shinichi Shibata,Rie Jindo, Lindsay Wells	Kinseido 1,90	9784764740594	7					
		+	 		備老					
参考図書		1			110 3	カカ豚業活動への参加と護頸の坦山け必須である ニキュしま	・購入したければ課題を埋火オスニレけて	『きかしので履修登録後 すみやかに購入手続きたオスニレ *	が場のように テキストを購入しないことによ	
シャロ百			1	1	るすべ	スマスズルが、マングルと呼ばった山は少沢とのな。デオストを スプロス都合は自己責任であることを留意すること。授業に関	また。 関する連絡事項はすべてキャンパスクロス	できないので履修登録後、すみやかに購入手続きをすること。 f Rを通じて行う。	ロッシャンに、ティスドで購入しなりことによ	
		+	 		\dashv \Box					
		+			⊣ I					